



# フロアトップ® #8000

コンクリート床用    美しい光沢    安定した硬化性

フロアトップ #8000は、高級床用塗料として開発した低粘度、無溶剤の二液エポキシ樹脂塗料です。それぞれの季節に合ったタイプに加え、下塗り専用のアンダー材(非着色タイプ)を取りそろえています。良好な作業性に加え、床用塗料に必要な耐摩耗性・付着性に優れ、光沢ある美しい床面が得られます。



## 特長

- 1. 鏡面のような仕上がり**  
塗膜に厚みがあり、高い光沢の美しい仕上がり得られます。
- 2. 耐久性に優れる**  
厚膜型エポキシ塗料で、耐摩耗性・耐薬品性に優れています。
- 3. 硬化性に優れる**  
季節ごとの硬化剤を取り揃え、年間を通して安定した硬化性が得られます。
- 4. 抗菌工法も可能です**  
エポキシ抗菌剤(別売)を添加することにより、優れた抗菌性を発揮します。

## 用途

高耐久性や防滑性が求められる工場床や、下地の不陸修正が必要な床等

## 荷姿・塗り面積・安全性・標準色

**[荷 姿]** フロアトップ #8000  
18 kgセット: 共通主剤 15 kg / 石油缶、硬化剤(夏型、春秋型、冬型) 3 kg / 4L 角缶

フロアトップ #8000 アンダー材  
18 kgセット: 共通主剤 15 kg / 石油缶、硬化剤(夏型、春秋型、冬型) 3 kg / 4L 角缶  
※#8000と#8000アンダー材の硬化剤は共通です。  
エポキシ用抗菌剤 450g / 丸缶

**[塗り面積]**

流しのペ工法	16 m <sup>2</sup>
流しのベペースト工法	18 m <sup>2</sup>
流しのベ防滑工法	13 m <sup>2</sup>

下地の状況や仕様により塗り面積は変化します。

**[安全性]**

製品名	文部科学省 学校環境衛生の基準 指定6物質	厚生労働省指針 環境13物質
フロアトップ#8000	非配合	非配合
フロアトップ#8000アンダー材	非配合	非配合

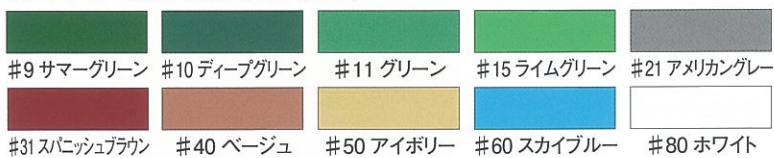


施工例  
塗装色は #11 グリーンと #60 スカイブルー



建物用床塗料 JIS K 5970 規格品		消防法: 主 剤 / 第四類第三石油類・ 危険等級Ⅲ・火気厳禁
ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆	硬化剤 / 第四類第三石油類・ 危険等級Ⅲ・火気厳禁

## [標準色] 10色 (調色も承ります)



※日塗り色見本には無いため、色見本を掲載します。  
※この色見本は印刷物のため実際の色調とは多少異なります。  
標準色の指定・選定・ご注文は必ず別冊の標準カラーサンプルをお願いします。

## 施工仕様例

### ①流しのべ工法 (0.8mm厚)

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗装間隔 (時間/23℃)	流しのべ工法 (EPS-A) 
下塗り	#800プライマー	—	—	0.20	2~24	
上塗り①	フロアトップ#8000	合成シンナーNo.2(冬型のみ)	0~3	0.30	16~48	
上塗り②	フロアトップ#8000	合成シンナーNo.2(冬型のみ)	3%以内	0.80	—	

### ②流しのべペースト工法 (2.0mm厚)

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗装間隔 (時間/23℃)	流しのべペースト工法 (EPP-I) 
下塗り	#800プライマー	—	—	0.20	2~24	
中塗り	フロアトップ#8000 アンダー材 珪砂6号混入	合成シンナーNo.2(冬型のみ)	3%以内	1.20 0.72	16~48	
上塗り	フロアトップ#8000	合成シンナーNo.2(冬型のみ)	3%以内	1.00	—	

●流しのべペースト抗菌工法は、フロアトップ#8000主剤15kgにエポキシ用抗菌剤450gを混入・攪拌後、硬化剤を加え、電動攪拌機を用いて充分攪拌混合した後、直ちに流しのべ、金ごてにて平滑に仕上げてください。

### ③流しのべ防滑工法 (2.0mm厚)

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗装間隔 (時間/23℃)	流しのべ防滑工法 (EPN-I) 
下塗り	#800プライマー	—	—	0.20	2~24	
中塗り	フロアトップ#8000	合成シンナーNo.2(冬型のみ)	3%以内	0.70	直後	
骨材散布	珪砂5号	—	—	3.00~4.00	16~48	
上塗り	フロアトップ#8000	合成シンナーNo.2(冬型のみ)	0~3	0.70	—	

※「学校環境衛生の基準」「厚生労働省指針」等の対応が必要な場合の仕様については当社までお問い合わせください。

注) 新設および塗り替えどちらの場合でも、下地処理は必ず必要です。下地処理方法は現場により異なりますので、施工仕様書を参照ください。

## 可使用時間 (ポットライフ)

タイプ	気温	5℃以下	5℃	10℃	15℃	20℃	25℃	30℃	35℃	使用時期目安
夏型	可使用時間	使用不可	使用不可	使用不可	使用不可	40分	30分	20分	20分	7月~9月
	硬化時間	—	—	—	—	16時間	16時間	16時間	16時間	
春秋型	可使用時間	使用不可	使用不可	使用不可	30分	30分	20分	使用不可	使用不可	4月~6月 10月~11月
	硬化時間	—	—	—	16時間	16時間	16時間	—	—	
冬型	可使用時間	使用不可	30分	30分	30分	20分	使用不可	使用不可	使用不可	12月~3月
	硬化時間	—	16時間	16時間	16時間	16時間	—	—	—	
冬型のみNo.2シンナー希釈		—	3%	3%	2%	2%	—	—	—	

## 注意事項

### 1. 塗装(施工)前の注意

- 5℃以下の場合には、塗装を避けてください。
- 降雨、降雪・高湿・高温時およびその恐れがある場合には、塗装を避けてください。
- 下地処理は、塗料の付着力を決定する重要な工程です。施工仕様書をよくお読みの上、充分注意して行ってください。

### 2. 塗装(施工)中の注意

- 下地が濡れている場合には、十分に乾燥させてから次の工程に着手してください。
- プライマーの乾燥後、時間を開け過ぎると、上塗り塗料との付着力が低下する場合があります。プライマーとその次の工程までは、同一日に塗装する様をお願いします。
- 塗装中は、換気をよくし、火気の取扱いは厳禁としてください。
- 二液性塗料の計量、混合攪拌は、はかりおよび電動攪拌機を用いて行い、可使用時間(ポットライフ)にも充分注意して塗装してください。また小分けする場合は、必ず小分け前に充分に攪拌し、均一にしてからはかりを用いて計量、混合してください。
- 主剤と硬化剤を混合したまま放置すると硬化が進行し発熱します。その際容器に融ると火傷を起す恐れがありますから、混合した塗料は、出来るだけ早く使いきってください。
- 周辺での火気、スパーク、高温物は使用しないでください。
- 静電気対策のため、使用する装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用してください。
- タンク内部の密閉場所作業時には、密閉場所、特に底部まで充分に換気出来る装置を取り付けてください。
- 無溶剤タイプです。冬型のみ合成シンナーNo.2で3%を限度として希釈できます。ただし規定量以上希釈すると硬化性が低下するうえ、所定の特性が発現しない可能性があります。また白化するリスクが高まります。
- 結露するような高湿度で施工(および養生)した場合、時間が経過しても、使用状況により白化することがあります。

### 3. 塗装(施工)後の注意

- 湿度が高いとき、気温の低いときは乾燥が遅れる場合があります。塗装工程では、常に乾燥状態を確認してから次の工程に入ってください。
- 養生時間 歩行開放=24時間以上 重量物開放=48時間以上(気温23℃・湿度50%)

### 4. 塗装面別の注意

- 新設コンクリートは最低4週間以上の養生が必要です。下地コンクリートに水分が多い場合は塗装を避けてください。塗装前に下地にポリシート(1㎡以上)を張り付け、翌日、下地面が黒くならぬ、ポリシート内面に水滴の付着がないことを確認した後塗装してください。(ケット水分計HI-520で測定した場合の水分量がDモードで700以下、チャンネル4で5%以下を目安とする)
- 普通コンクリートにおいてレイタンス、エフロレッセンス等をポリリッシャーサンダー等で完全に取り除いてください。
- 既存塗膜面の塗り替えは、既存塗膜の除去が必要を確認し、除去しない場合は、当社発行「フロアトップ資料編」の相互付着表をご参照ください。(既存塗膜の種類によって塗装仕様が異なります。)
- 風化したコンクリート面、粉っぽいコンクリート面には#800プライマーを2回塗りしてください。
- コンクリート面をドライバ等で引っかいても傷が付きにくく水が浸透しない強化コンクリートの場合やさらに油污れが付着している面では、下地処理の方法や下塗り材の種類が異なりますので、当社にお問い合わせください。
- クラック、穴埋めには、床用パテ・スーパームールをご使用ください。
- 店舗床等で、特に意匠を優先する用途では、黄変しますので、ご注意ください。

### 5. 全般的注意

- 製品ご使用の際には、当販促物の他、製品本体記載の注意事項およびSDS(安全データシート)・施工仕様書をよくお読みください。
- 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- 改良等のため、①製品の中身、仕様 ②販促物の内容等は将来予告なしに変更する場合があります。
- 当販促物に表示してあります塗り面積、工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。塗装の際の諸条件によって増減する場合があります。
- 製品本体および当販促物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。またご使用方法等につきましてご不明な点がございましたら、必ずご使用前に当社にお問い合わせください。

## アトムクス株式会社 塗料事業部

〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL.03-3969-3125(直通) FAX.03-3968-7300

<http://www.atomix.co.jp>

検索 フロアトップ8000



- 本社 〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL (03) 3969-3111 FAX (03) 3968-7300
- 加須受注センター 〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-12-1(加須工業団地内) TEL (0480) 65-1154 FAX (0480) 65-6909
- 大阪支店 〒574-0053 大阪府大東市新田旭町2-22 TEL (072) 872-3111 FAX (072) 872-1222
- 仙台営業所 〒982-0011 仙台市太白区長町6-8-7(ハイコートアイ1F) TEL (022) 249-7371 FAX (022) 249-7372
- 新潟営業所 〒950-0982 新潟市中央区堀之内南2-19-14(和合ビル) TEL (025) 244-8011 FAX (025) 244-8012
- 横浜営業所 〒224-0033 横浜市区築区茅ヶ崎東3-17-43 TEL (045) 943-8911 FAX (045) 943-8912
- 名古屋営業所 〒462-0043 名古屋市中区八代町1-9(北村ビル2F) TEL (052) 914-3900 FAX (052) 916-0892
- 広島営業所 〒739-1734 広島市安佐北区口田1-8-17(小夫家ビル) TEL (082) 845-2202 FAX (082) 845-2203
- 福岡営業所 〒812-0863 福岡市博多区金の隈1-33-31 TEL (092) 503-5200 FAX (092) 503-5308
- 加須工場 〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-12-1(加須工業団地内) TEL (0480) 65-1159 FAX (0480) 65-7146